



臨床工学技士通信 No11

Feb/2008

徳島県立三好病院で昨年十月、血中の酸素濃度を測定する生体監視モニターを装着されたが、濃度の異常を知らせるアラームが解除されたままになっていた為、酸素濃度異常の警報音は鳴らず、心停止状態の警報音が鳴るまでの十六分間、適切な処置をされずに放置された。警報音を聞いた医師や看護師から心臓マッサージなどの救命処置を受けたが意識は戻らず・・・・・・・・・・・・・・・・。

周知されている事と思いますが、上記の事故報告が1月に行なわれたSM委員会にて配布されました。

SpO₂ モニター初期設定について (アラーム設定値は、使用前必ず確認して下さい)

<ネルコア製>

- 電源を OFF : 全ての機種で初期設定になります。
- SpO₂ 下限アラーム初期設定値 : 85%



<日本光電製>

- 電源 OFF : おおよそ 30 分後 (30 分経過すれば確実に) 初期設定になります。
- SpO₂ 下限アラーム初期設定値 : 90%

[電源 OFF 直後に電源 ON にすると、電源 OFF にする前の設定になります]



<マシモ製>

- 電源 OFF : 電源 OFF 前のアラーム設定を記憶している。



<フィリップス製>

- 電源 OFF : 約 20 分後には初期設定になります。
- SpO₂ 下限アラーム初期設定値 : 85%

[電源 OFF 直後に電源 ON にすると、電源 OFF にする前の設定になります]



CE Watanabe